

避難時の感染症対策

知っておくべき5つのポイント

内閣府(防災担当)・消防庁

避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。



避難先は、小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。



マスク・消毒液・体温計が不足しています。
できるだけ自ら携行して下さい。



市が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。
災害時には市ホームページ等で確認して下さい。



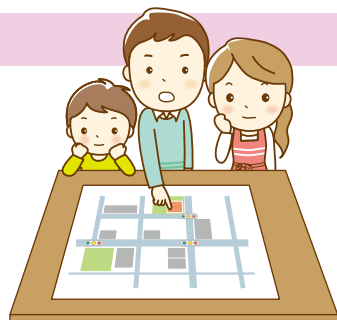
豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。



市民の皆さんに平常時からお願いしたいこと

自宅の安全性の再確認

ハザードマップにより、自宅の安全性や避難の必要性を再度、確認してください。



分散避難の検討

避難所が過密状態になることを防ぐため、分散避難を検討してください。

- 在宅避難(自宅の安全性が確保できる方)
- 安全な親戚や知人宅への避難
- 車中避難(安全な駐車場が確保できる方)

避難所生活での留意事項

避難所での生活で感染拡大を防止するには、

- 手洗い・うがい・検温・手指消毒・マスクの着用
- 身体的距離の確保
- 定期的な換気

など基本的な感染対策を実施することが重要です。

なお、避難所生活では以下の事項に留意してください。

- マスク、体温計、ウェットティッシュなどの衛生用品は、なるべくお持ちください。
- こまめに手洗い(食事前、トイレ使用後など)を励行するとともに、咳エチケットなど基本的な感染対策を徹底してください。
- 避難所で実施される健康状態の確認にご協力ください。
- 発熱や咳の症状がある場合は、速やかに申し出てください。

避難所では、体育館などの
一つの部屋で多くの人が生活することとなります。

慣れない生活で免疫力が低下するおそれもあるため、
感染症対策を徹底しましょう。